

機械工学科の新生のみなさんへ

○ 大学での過ごし方

- ・高校までのように担任の先生はいません。何かあればどの先生でもいいので相談しましょう。
- ・先生がいなければ、機械工学科事務室に相談しましょう。
- ・ホームルームもありませんので、プリントなどの案内文書の配布はほとんどありません。
- ・連絡事項はポータルサイトや掲示板を使用します。とくに4号館2階掲示板を確認しましょう。
- ・ポータルサイトなどのお知らせをよく確認しましょう。
- ・そのお知らせから、自分の行動予定をしっかりと立てて、確認しながら生活しましょう。
- ・わからないことがあれば、必ず誰かに聞くことです。待っていても解決できません。

○ 学生とは

- ・学生とは自ら学ぶ人だと考えます。
- ・授業でわからないことはもちろんですが、授業以外の機械工学専門分野について自習してわからないところがあればなんでも聞いてください。

○ 大学内案内

- ・建物名称と部屋番号について
- ・機械工学科は4号館
機械工学科の事務室は4307室です。部屋番号から4号館3階だとわかりますね。
ただし、11号館は本館と呼び、建物番号0が割り当てられています。
- ・本館から4号館までは10分程度歩きます。
休み時間は移動時間になる場合もあります。注意しましょう。
授業が行われる教室などは事前に確認しておきましょう。

○ カリキュラム関係

- ・卒業までに124単位必要です。
- ・履修申請とは、大学に単位を修得しようとする授業科目を申し込むことです。これを行わないと科目に合格しても、単位修得ができません。履修登録の確認のときには、必修科目も含めすべての科目が登録されているか確認しましょう。
- ・時間割でどの科目を履修申請すればよいか、よく考えましょう。
- ・2年生修了までに総合教育科目の20単位を超えるようにしましょう。

実践教育科目		8単位以上		20単位以上	124単位	学士(工学)
総合教育科目	教養教育科目	教養入門ゼミ	要件なし			
		人文科学	要件なし			
		社会科学	要件なし			
		自然科学	要件なし			
		学際領域	要件なし			
	言語文化科目	日本語文化	(留学生に限る) 8単位			
		英語	4単位以上			
		初修外国語				
	身体科学科目	日本語	(留学生に限る) 8単位			
		身体科学科目	要件なし			
専門教育科目		必修および選択科目の単位を合わせて、88単位以上(自由科目4単位を含む)				
4年以上在学						

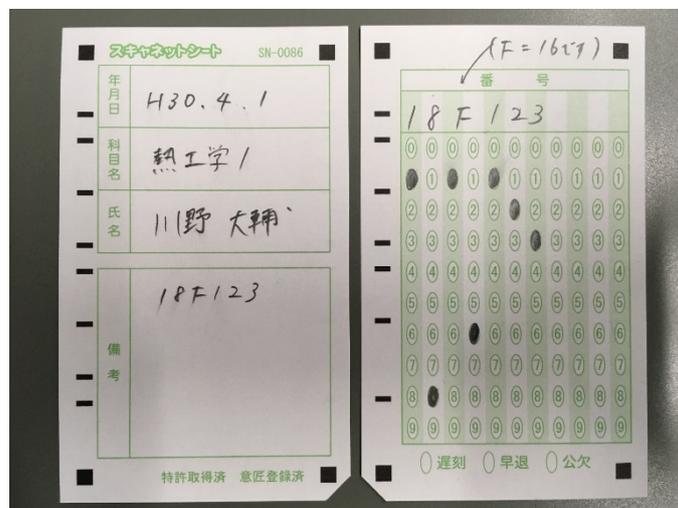
注) 留学生は、教養教育科目分野の日本文化 8 単位および言語文化科目分野の日本語 8 単位を必須とする。

○ 授業について

- ・着席は指示がない限り自由席です。
- ・最初の2回目くらいまでで教室での着席が決まることが多いようです。
- ・欠席・遅刻は厳禁。とくに実験実習演習。
- ・やむを得ず欠席するときは、必ず証明書などを用意すること
 - 電車が遅延した場合は延着証明書。
 - 病気・怪我をした場合は、診断書。
 - 冠婚葬祭の場合は、案内状など。

○ 出席カードについて

機械工学科ではマーク式の出席カードを採用しています。記入方法を確認しておきましょう。機械工学科を表す学科アルファベットはFで、このFを数字2つにわけ、1と6にマークします。



○ 学習支援センター

数学、英語、物理の自習ができます。各科目の教員がいることが多いですから、わからないところは聞きましょう。学習支援センターは9号館1階です。

○ 学生健康保険組合

・医療費の給付があります。

医療費のうち、健康保険などでは給付されない3割の自己負担分のうち、組合が定める基準に沿って給付します(ほとんどの場合**医療費は実質無料**になります)。ただし、歯科診療やアルバイト中の怪我などには給付されないなどの条件があります。

医療費が実質無料になりますので、授業などを欠席した場合は必ず診断書を作成してもらいましょう。残念ながら、診断書の費用は実費になります。

詳しくは、学生生活課に聞きましょう。

・組合が指定する宿泊施設の補助があります。

4年間で8回まで利用可能です。

学生健康保険互助組合の指定している施設に宿泊した場合で、1回の利用につき2000円の補助を受けることができます。詳しくは、学生生活課で話を聞きましょう。

○ 大阪産業大学学会

夏休み期間などにイベントが行われますから参加してみましょ。

鈴鹿安全運転講習や羽田旅客機整備場見学などあります。

また、毎年アイデアコンテストや学会誌表紙写真などの募集なども行っています。

ぜひ参加してみてください。

○ 実習演習関係

・作業服

プリントをよく確認して、授業までに用意しましょう。

・欠席・遅刻厳禁

欠席・遅刻は厳禁です。やむを得ない事情で欠席する場合は、必ず証明書を用意しましょう。